

# 「中計2026」

26年度緊急対応について

2025年11月19日

芝浦機械株式会社

# 中計2026

## 2024年度～2026年度

＜本編中の用語注釈＞

射出	：射出成形機	(成形機セグメント)
ダイカスト	：ダイカストマシン	(成形機セグメント)
押出	：押出成形機	(成形機セグメント)
工作	：大型の工作機械	(工作機械セグメント)
精密	：超精密加工機	(工作機械セグメント)
制御	：制御機械セグメント	

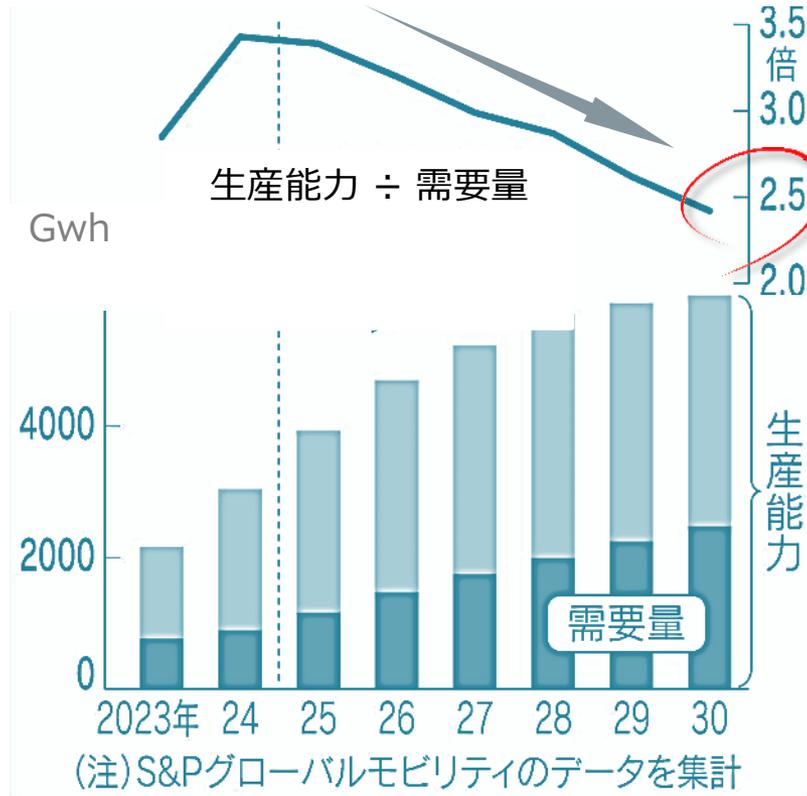
※本編で使用されている“BSF”は、“リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置”を示しています。

1

## 前提条件の変化

# 取り巻く概況① (EV電池の需要鈍化)

## ■ EV電池生産能力と需要 (世界)



2030年 時点  
電池需要に対する  
生産能力 : **2.4倍**

### 2026年度の押出の想定売上規模

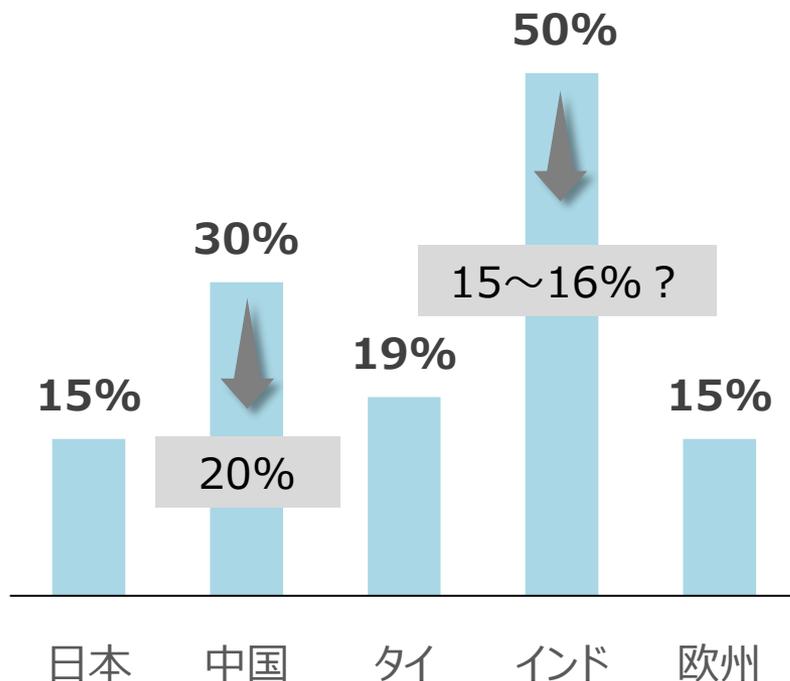


EV電池の生産能力過剰感が今後も続く

当初計画の押出のみで**1000億円売上**の達成が**困難**な状況

## 取り巻く概況②（米国関税）

- 当社工場（欧州の買収予定含む）の所在国からの対米国関税率



輸出製品に使われている  
鉄鋼・アルミの材料価格  
に対して追加関税50%

対象：約400品目

Fe Al

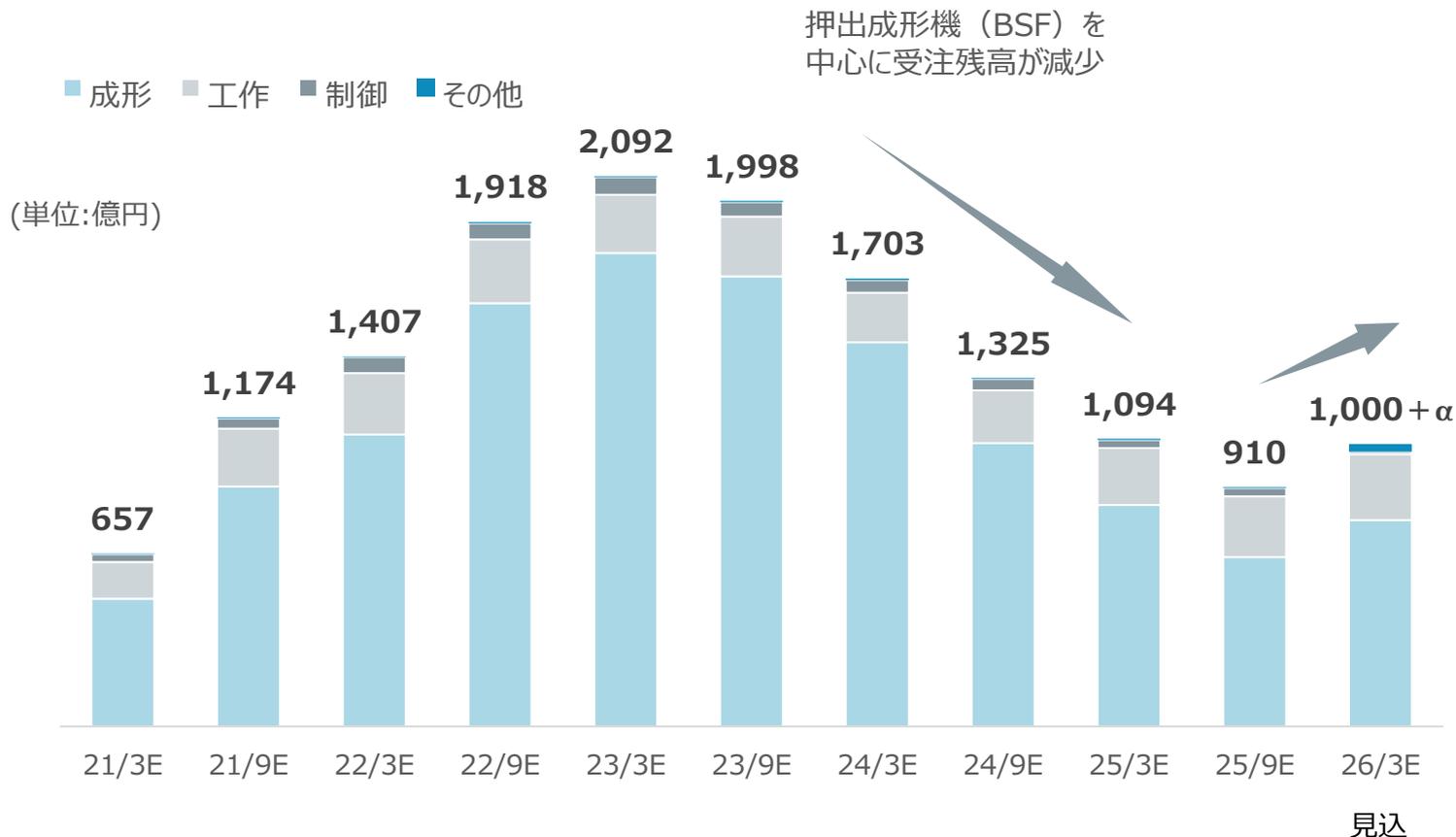
当社商品の売価 + 2~3% のインパクト  
成形機、工作機械の価格競争力減退

相互関税は確定したものの、追加関税率および実行時期が未確定で、  
ユーザーの設備投資の様子見が継続

特に射出・ダイカストにて大きなマイナス影響を受けている

# 受注残高の推移

## ■ セグメント別受注残高



不安定な市況とEV販売停滞により、受注残高がピークの半分まで減少

**25年度9月末を底に回復基調**

# 「中計2026」の振り返り（現時点）

戦略・施策	2025年9月末までの進捗状況
射出グローバル体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>インド第2工場稼働、増産中</li> <li>小型射出成形機をOEM生産中（中国）</li> <li>欧州市場開拓を目的に、LWBの買収に向け株式譲渡契約締結</li> </ul>
システムエンジニアリングの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>テクニク、ファンクショナル・フルイドの買収</li> </ul>
サービス事業強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>工作機械と海外現法のサービスを芝浦機械エンジニアリング(株)に統合、統制開始</li> </ul>
生産・作業効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>ERP：システムベンダー決定</li> <li>工場再編：押出テクニカルセンターの建屋建設着手</li> </ul>
ブランディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>TVCM放送（学生入社希望者+20%増）</li> </ul>
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>超大型ダイカストマシン（受注済）の開発</li> <li>次世代電池対応装置を開発中</li> </ul>

- 「中計2026」の**戦略・施策**は、EVシフト鈍化・米国関税によって、**26年度での効果発現が困難**となった。（**発現時期の後ろズレ**）
- 米国関税問題が収束し、EVシフトが再び動き出せば、**施策効果が発現**するものと想定
- したがって、「中計2026」で遂行中の**戦略・施策は今後も継続実行**

# 中計2026

2024年度～2026年度

---

2

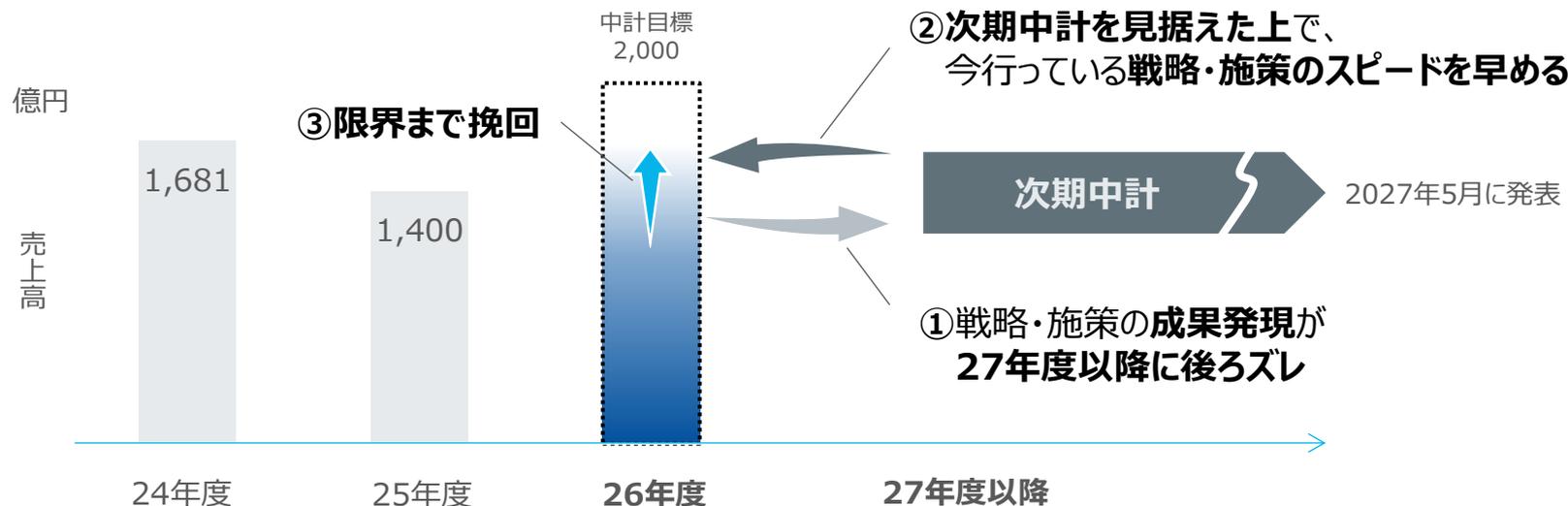
26年度緊急対応について

# 26年度緊急対応の策定

中計2026



- 「中計2026」は事業環境の大幅な変化により、**26年度の目標は未達**となる見込  
26年度の業績予想は26年5月に改めて公表予定
- 次期中計は27年5月に公表予定
- 次期中計に向け、**26年度緊急対応を策定・推進**し26年度業績にも寄与するよう施策を推進



# 26年度緊急対応の戦略・施策

次期中計に向けた26年度緊急対応は、「中計2026」で推進している**戦略・施策**をベースに、26年度業績にも寄与させるべく、**実行スピード・刈り取り時期を早める**

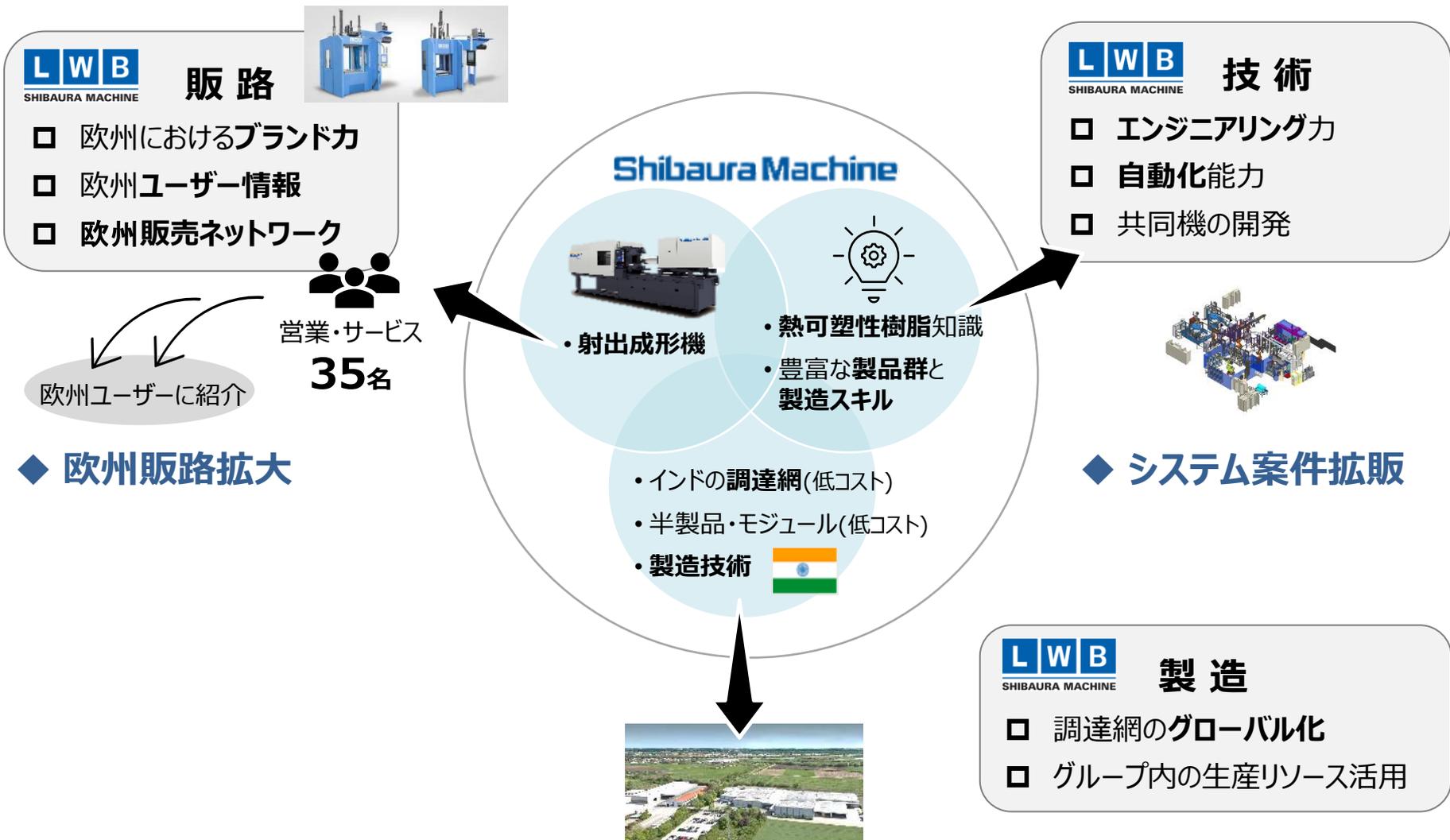
- 徹底的な**経費節減・効率化**による**利益創出** ... **A**
- **期内受注売上**の**獲得** ... **B**
- **次期中計の布石**として進める**施策のうち、26年度に効果刈り取りの前倒し** ... **C**

26年度に寄与する  
規模感 (億円)

<b>B</b>	米国関税の収束 (全体)	+ 100~150
<b>B</b>	欧州市場開拓 (射出)	+ 80~100
<b>B</b>	インド市場 シェア拡大 (射出・工作)	+ 30~50
<b>B</b>	北米市場開拓 (精密)	~ + 5
<b>B</b>	大型特殊機の受注・生産 (工作)	+ 30~50
<b>C</b>	次世代BSFの受注 (押出)	+ 100~150
<b>A C</b>	東アジア・東南アジアのグローバル体制再編 (射出)	効率化

+ M&A

※ 26年度緊急対応の主要施策



### ◆ 欧州販路拡大

### ◆ システム案件拡販

### ◆ LWB商品の原価低減、利益率向上



## 射出成形機

### 射出

### 第2工場 量産化

- ドメイン： 自動車、医療、容器、雑貨、家電、文具
- 注力機種： 小型電動機、中大型油圧機

- 油圧～電動までフルライン機種戦略
- 品質・サービス面の差別化戦略
- 電動機によるエネルギーコスト削減効果の訴求
- テクニカルセンター運営開始による販売強化



2028年度 販売目標 **2800台**

## 工作機械

### 工作

### インド市場開拓

- ドメイン： エネルギー（オイルガス、風力）、建機、産業機械、運搬機械
- 注力機種： 横中ぐり盤、立旋盤

- インド市場からの受注拡大
- BIS\*認証取得
- インド現地法人の組織強化
  - ・ 営業技術とサービス人員の補強、教育中
- 代理店の再整備
- インド工場テクニカルセンターにデモ機設置



\* BIS:インド標準規格局



## ■市場の特定

市場	市場全体規模	市場伸び = 販売機会	攻めるポイント
自動車光学	Tier1 10社 Tier2 20社	6 - 9 (台/年)	自動車メーカを起点に Tier1、Tier2を攻略
医療部品	対象 200社 販売 100台/年	10 - 15 (台/年)	商社との連携



## ■組織の整備

営業 + 営業技術 + サービス  
2029年度までに既存人員体制の3倍



## ■テクニカルセンターの整備（SMA\*内）



完成イメージ

北米対応機種の商品化\*と受注獲得に注力

\* SMA: SHIBAURA MACHINE COMPANY, AMERICA

\* 初号機の上市：25Q4中

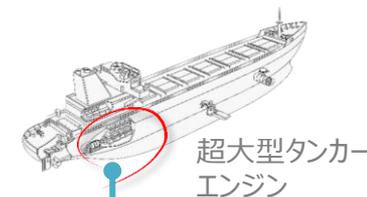
# 大型・特殊工作機械の受注・生産拡大

工作

受注環境はおおむね良好

	タービン	石油 エネルギー	マイニング	風力 発電	航空・ 宇宙	造船	自動車	一般 産業
米 国	▲	▶	▲	—	▲	—	▼	—
日 本	▲	—	▼	—	▲	▲	▼	—
中 国	—	—	—	▲	—	—	▼	▶

- 北米： **航空宇宙、エネルギー、マイニング**に集中
- 日本： **造船**（次世代燃料船への切替による**リプレース需要増**）、**航空宇宙向け大型・特殊機**に集中
- 日本： 防衛予算の大幅増額に伴う **国内防衛産業**に対し、大型・特殊機の**レトロフィット、サービス強化**



前倒生産で受注・売上拡大を図る

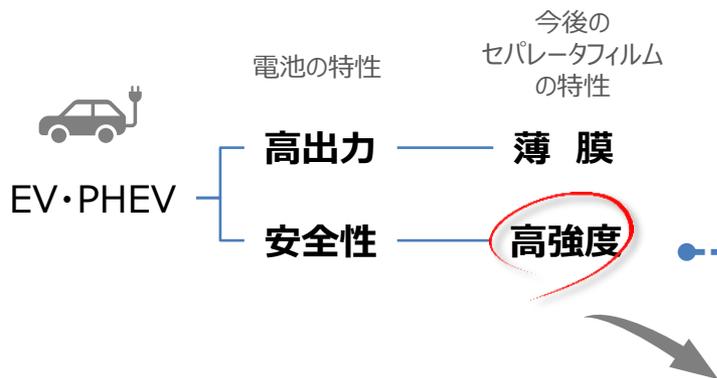
# 次世代BSFの受注注力



押出

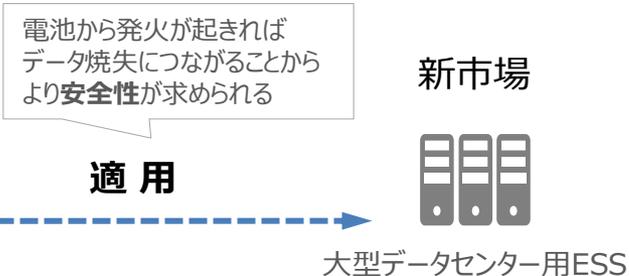
## ■ 車載電池の市場特性の変化

EV用セパレータフィルムはBSFの**高速・広幅化**による**コスト低減要求**に加え、  
 今後は更なる電池の**高出力・安全化**を目的とした**薄膜・高強度が進む**



## ■ 新市場（ESS）への適応

新市場として、**大型データセンター用ESS**  
 （エネルギー貯蔵システム）向けの**BSF需要伸長**も見込まれる



## 商品力（次世代BSFの能力）

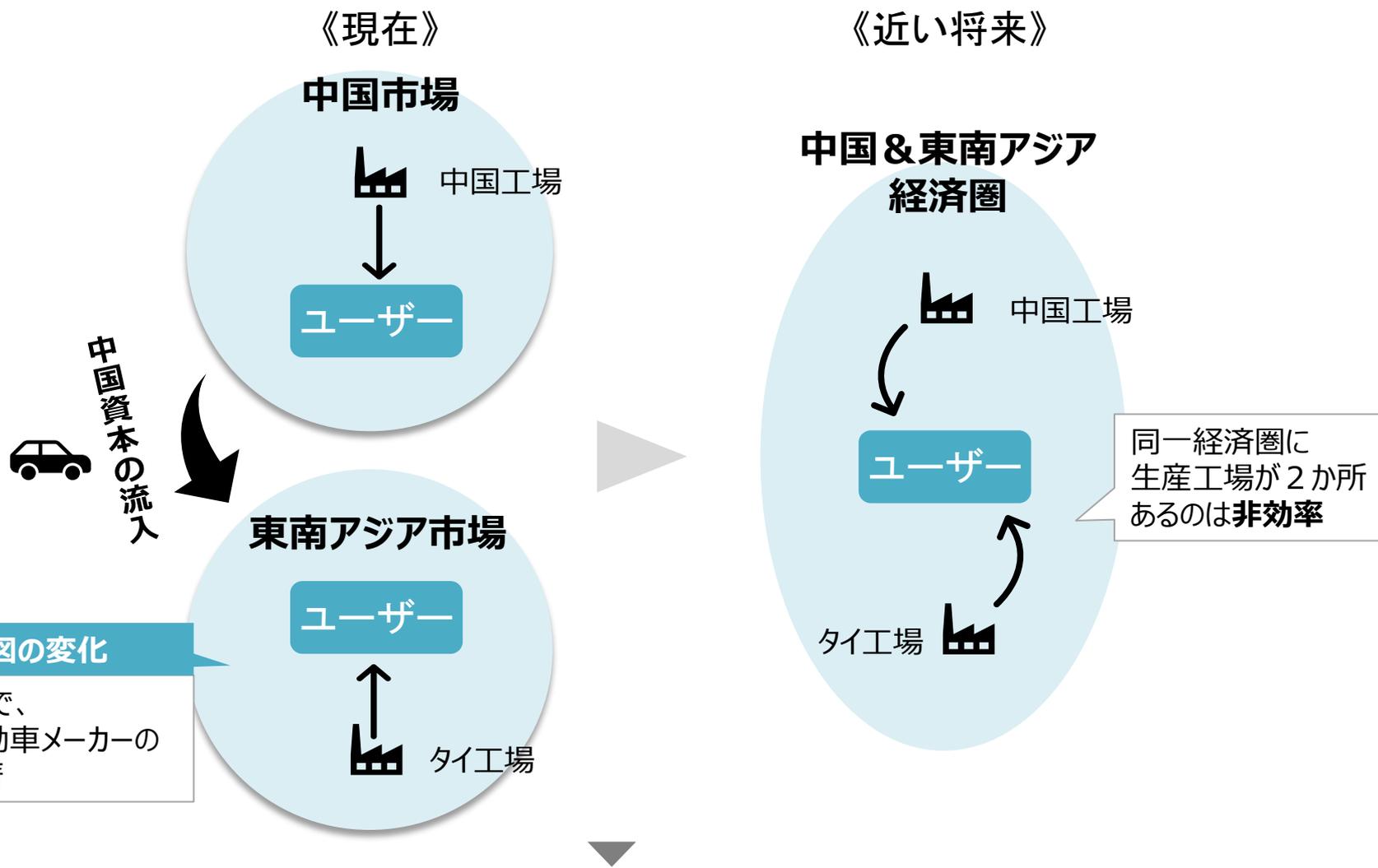
抽出乾燥装置を含めたフルターンキー対応だけでなく、  
**薄膜・強度向上**のために**高延伸倍率対応**を進め、**他社との更なる差別化**を進めている



**次世代セパレータフィルムを生産可能な中国メーカーに  
 次世代BSFの受注に注力**

# 東アジア・東南アジアのグローバル体制再編

射出



**勢力図の変化**

東南アジアで、中国系自動車メーカーの進出が顕著

射出のグローバル体制を見直し、最大効率化を図る

# 中長期に取り組む領域

	注力領域
射出	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムエンジニアリング（前後工程）</li> <li>インド・アフリカ・欧州・米国</li> </ul>
ダイカスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>メガキャスト（日系自動車メーカーの国内生産対応で、4500tクラスの開発）</li> </ul>
押出	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代電池（ドライ電極、全固体電池）</li> <li>エネルギー貯蔵システム（再生可能エネルギー、データセンター向け）</li> <li>先端素材（CFRTP（航空機素材））</li> </ul>
工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電（タービン）</li> <li>航空宇宙、造船</li> <li>国内防衛産業</li> </ul>
精密	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラレンズ、光通信（大型データセンター向け）、自動車光学、医療</li> </ul>
制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムエンジニアリング（梱包、搬送、組立）</li> </ul>

（早期に成果が出るものに限定）

# Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0336 URL : <https://www.shibaura-machine.co.jp>